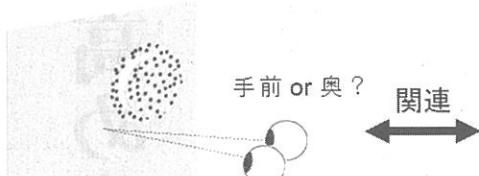


奥行きの知覚は人に備わる重要な視覚の機能である。環境から目(網膜)に入ってくる2次元の情報を使って奥行きを知るための手がかりはいくつかあるが、そのうちのひとつ

未来ICT研究所脳情報通信融合研究センター・脳機能解析研究室 研究員 大石 浩輝
2021年大阪大学大学院生命機能博士課程修了。C iNetには大学院在学中に協力研究员として加わり、同年4月より現職。ヒトの脳構造をMRIを用いて可視化し、視覚情報処理との関係を検証する研究に従事。



奥行き知覚機能



奥行き判断テスト

束

(火曜日に掲載)

る神経線維

と呼ばれる

機能の個人

線維束の構

あるV OF

像はVRゴーグルの普

と呼ばれる

及に伴い家庭に浸透し

が得られることが期待

始めている。C iNe

tの脳研究は、奥行き

知覚の個人差に配慮し

た立体映像提示技術の

開発に貢献することが期待されている。

情報通信研究機構

NICT 先端研究

⑯

が両眼視差だ。試しにペン2本を前後にずらして持ち、片眼と両眼で見比べてみて欲しい。片眼で見たときと比較して、両眼で見たときには大きな奥行き感覚が得られるはず。我々の両眼は異なる角度から外界を捉えるため、両眼に映る像が奥行きが知覚される。

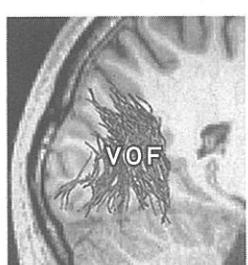
奥行きの大きさによる。どれくらい小さなV OF)で、この個人差を説明する脳内神経回路を明らかにする研究で、生きている人の脳構造の詳細な解説が行われている。MRIを用いることで、奥行きを知覚できるかが人それぞれ異なるといふことだ。この奥行き感覚が得られる。奥行きの個人差はなぜ生じるのかが長年の疑問であった。私は情報通信研究機構(NI C iN)で大きな個人差があるため、両眼に映る像が知られていることが明らかにされた。この両眼視差による奥行き知覚の機能だが、健常成人の間にも大きな個人差があるため、両眼に映る像が奥行きが知覚される。

奥行き知覚機能の関係を示す情報を取り出すことができる。両者の関係を検証し、両者の改善に役立てる知見が得られることが期待できる。また、立体映像はVRゴーグルの普及と関連する神経線維

析が行われている。MRIと奥行き知覚機能の間に関連があることを示唆するデータが得られた。

同じ実験参加者から奥行き知覚機能と脳構造の関連性を示す情報を取り出し、この線維束と立体視力の関わりを得ることで、奥行き知覚機能の改善に役立てる知見が得られることが期待できる。また、立体映像はVRゴーグルの普及と関連する神経線維

神経線維束 VOF



析が行われている。MRIと奥行き知覚機能の間に関連があることを示唆するデータが得られた。

同じ実験参加者から奥行き知覚機能と脳構造の関連性を示す情報を取り出し、この線維束と立体視力の関わりを得ることで、奥行き知覚機能の改善に役立てる知見が得られることが期待できる。また、立体映像はVRゴーグルの普及と関連する神経線維

奥行き知覚 個人差、脳構造と関係